

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 西深津小 学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価（10月1日）			最終評価（2月末）				
							□指標に係る取組状況	プロセス評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期（中期）経営目標の達成状況	プロセス評価	達成評価	総合評価
4	児童の主体的な学びを全教室で展開	★	継続	「学ぶ喜び・楽しさを実感する授業」を実践する。	「児童がどう学ぶか」という視点で授業を計画的に検証する。 ・児童が「学びがおもしろい」と感じる姿を共有する。	児童アンケート（自分で課題を見つけ進んでとりこんでいる）保護者アンケート（学習に積極的に取り組んでいる）肯定的回答85%以上	対話が制限されている中ではあるが、課題の与え方や楽しさを見出せる教材研究や教具作り等に取り組んだ。児童アンケート74%、保護者アンケート91%	3	3	タブレット等で考えを発信したり、違いを比べたりしながら学びが共有できるようにする。				
1	福山や地域への愛着と誇り、地域への貢献	★	新規	児童が、行事やボランティア活動を通して地域や人々と触れ合う。	・SDGs11をテーマに活動を仕組む。 ・児童が考え、児童主体の「心の伝承」を進める。	児童アンケート（自分の住んでいる地域が好き）肯定的回答85%以上	他学年交流でSDGsを知ることができた。教科の中で、地域を知る取り組みを行った。肯定的回答84%	3	3	動画や手紙やオンラインでの交流を計画する。地域見学やボランティア活動などに取り組む。				
3	業務改善・業務削減の推進		継続	目指す授業の姿に向けて授業づくりを行う時間を確保する。	・児童主体の観点で行事の精選をする。 ・研修等を計画的に設定し、時間短縮をする。	アンケート（業務改善により授業づくりを行う時間が確保できている）肯定的回答100%	教材・教具のデータを共有して時間短縮をする。優先順序の見直しをする。肯定的回答88%	3	3	学校・学年通信や時間割などをデータで送信することで作業に関する時間を短縮する。				

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。